



Illustration by: Tadashi Ura

Feel the TECHNOLOGY 五感で実感

どうしてこんなに気持ちがいいの？
誰かに自慢したくなるような、
快適とテクノロジーの素敵な関係。

視覚

Theme 1

スウェーデンハウスの窓には秘密がある？

スウェーデンハウスのアイデンティティともいえるべき、トップダウンウィンドウ。初めてご覧になったお客様のほとんどが、その大きさ、明るさに驚かれます。この明るさ、存在感…一体どんな秘密があるのでしょうか？
理由はいろいろ考えられます。ス

美しい窓と暮らすと
幸福になるって、
本当ですか？

スウェーデンハウスの窓には、「格子」や「棧」がありません。また、日本家屋の窓には必ずセットされ、窓の半分を暗くみせている「網戸」*1もありません。結露の悩みからも解放されるので、真冬でも外の景色が楽しめます。ガラス全面で光を取り込み、遮るものない視界を楽しめる。この開放感が、実際の大きさよりも窓を大きく印象付けるのかもしれない。

北側に大きな窓をつけるなんて、
おかしいですか？

明るさや存在感もさることながら、スウェーデンハウスの窓の大きな特徴は、何と言っても優れた断熱性能。そのレベルの高さは設計図にも表れます。設計の教科書どおりにいくと、家の北側は寒いので、窓はなるべく小さく、少なく。居室よりも水回りが集中してしまふというのが一般的ですが、その常識を簡単に覆すのが、スウェーデンハウスの窓。「窓は寒い」という心配がないため、北向きの部屋やお風呂に大き

な窓を設置されるお客様は多くおられます。北向きの窓から差し込む光は一日中安定しているので、アトリエや書斎にも最適。また、盆栽や花壇を順光で、美しく眺めたいとおっしゃる方も最近が増えてきています。空だって、太陽のある南は白っぽく見えませんが、北の空は真っ青で美しい…。断熱性能へのこだわりは、家の「北側」の価値を一変し、暮らしの楽しみを大きく拡げられることになりました。

ところで、今年に入って何回窓を拭きましたか？スウェーデンハウスにお住まいの方と、そうでない方とで、その回数にはきっと大きな差があると思います。掃除しやすい、というだけではなく、「気になる窓」*2、見せなくなる窓だから、ついつい拭いてしまう…スウェーデンハウスの窓は、換気・断熱・防犯等の機能に加えて、「見て楽しい」という大きな特徴を兼ね備えているのです。「額縁に入った絵画を見ているように」という表現がよく使われるように、豊かな表現力を持っています。花を飾る、写真を置く、カーテンで遊ぶ、オーニングで光を変える。窓辺を美しく飾ることで、窓は住まう人々に、そして道行く人々に、様々なことを語り始めます。季節を感じたり、家族を想ったり、明日を待ち焦がれたり…窓に視線を移す時、人はいつもよりも少し上を向き、胸を張ります。美しい窓と暮らしてください。きっと美しい毎日が待っています。

*1 スウェーデンハウスの網戸はオプションで、設置したとしても収納式です。

*2 スウェーデンハウスのオリジナルオーニングは3タイプ。効果的な日射遮蔽機能だけでなく、見た目の美しさにも妥協を許さず、1997年より試行錯誤を経て開発されました。